

平成29年8月10日

防衛省 北関東防衛局
局長 吉田 廣太郎 様

所沢市基地対策協議会会長 荻野 敏行

米軍所沢通信基地内の東西連絡道路整備事業に関する
負担軽減について(要望)

所沢通信基地内の東西連絡道路用地返還につきましては、平成24年2月の日米合同委員会で返還合意されましたこと、これもひとえに貴局をはじめ、関係機関の多大なるご理解とご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

さて、東西連絡道路整備事業に係る経費につきましては、当時、貴局にご配慮いただき国と市との負担区分が取り決められ、現在、市では具体的な設計を実施し、それを基に各種工事等を進めている段階であります。しかしながら、様々な要因により、経費が当初国の積算した概算額と比較して、市の負担額が大きく膨れ上がることとなりました。

更には、返還合意時には想定していなかった、土壤汚染の問題等が新たに見込まれるため、市の負担がより増加することとなります。このことは、市の厳しい財政状況をより一層厳しくするものとするところから、以下のとおり要望いたします。

- (1) これまで所沢通信基地は、旧陸軍及び米軍が長きにわたり使用されていたことから、今後見込まれる未返還地の汚染土壌の処理費用を日米政府間の問題として、国の責任において相応の負担をしていただくこと。
- (2) 上記のほか、当初は想定していなかった、今後新たに発生する経費については、国の責任において相応の負担をしていただくこと。
- (3) 所沢通信基地に関すること及び東西連絡道路整備事業に伴う日米合同委員会等の協議内容等につきましては、市に情報提供いただくこと。

所沢市、所沢市議会及び所沢市基地対策協議会では、「基地全面返還は市民の願い」のスローガンのもと、所沢通信基地の全面返還を目標として取り組んでまいりました。

このたびの東西連絡道路用地の返還につきましては、長年にわたる要望事項であり、多くの市民の方々が一日でも早いその開通を待ち望んでいるところであります。改めまして、東西連絡道路整備事業が貴局のご協力のもと、滞りなく工事が進み、返還される日まで、引き続き特段のご配慮をお願いいたします。